まじょまじょ奮闘ストーリー

企画・構成
科学的教育グループ SEG®
バックナンバーは右記アドレスで公開中！ www.seg.co.jp

まじょまじょリョウちゃん 修行編

第13話　～リョウちゃん、初心にもどる～

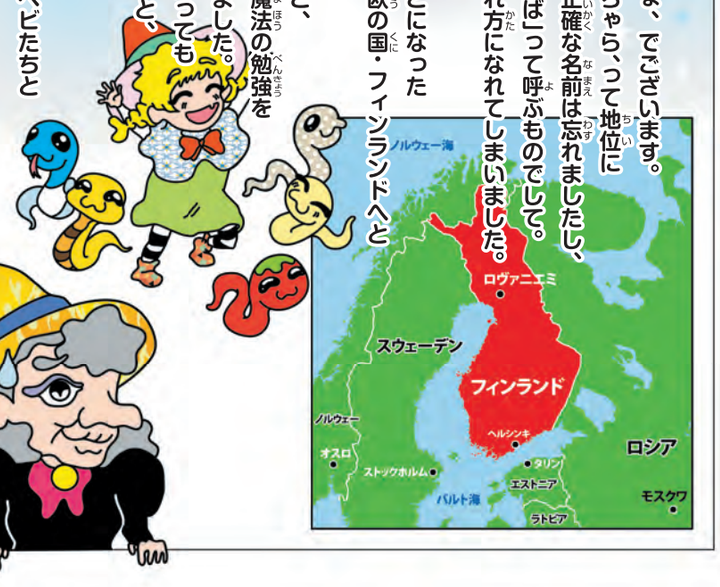
■作／青木亮二（SEG）
■画／金春（広真アド）

わたしはセツコ。偉いまじょ、でございます。
本当は、正一位聖弥勒なんちゃら、って地位にいるんですけど、わたしも正確な名前は忘れましたし、まわりのみんなも「おおばーば」って呼ぶものでして。近ごろはすっかりその呼ばれ方になれてしまいました。

今日は、ちょっと困ったことになったリョウちゃんを連れて、北欧の国・フィンランドへとやってまいりました。

もともとだったのですけれど、最近とくにリョウちゃんが魔法の勉強をさぼりがちになってしまいました。

「そんなのじゃ、いつまでたっても まじょまじょのままですよ」と、言い聞かせはするのですが、よいのは返事ばかりで、目を離すとすぐにお仲間のヘビたちと遊びはじめてしまうのです。



ここはひとつ、北風と太陽、の「太陽作戦」を、と思い、この地へとやってきたのです。

「リョウちゃん、さっそくわたしの知り合いのご家庭を訪ねますわよ」

ここ、フィンランドは世界で最も福祉が充実している国のひとつです。医療費や学費も、ほとんどを国が負担してくれるのですよ。

そのかわり、税金は少々高いのですけれど、そんなことは子どものみんなは心配しなくていいの。お父さま、お母さまにとっては問題でしょうけれど。

「セツコさん、はるばるようこそ。お久しぶりですわ」

「ヘレナさん、もうすっかり大きくなっちゃったわね」

ヘレナさんはわたしのペンフレンド（文通友達）で、おなかの中に赤ちゃんがいます。

リョウちゃんはそんなヘレナさんのおなかに興味しんしんのご様子ね。

「さわっていい？　耳を当てていい？」と大はしゃぎをしています。

……おや、リョウちゃんはさっそくおなかの中の赤ちゃんにけられて、ベロをかんでしまったようですね。

リョウちゃんが魔法の力で仕返しをしないようにと、わたしはこっそりヘレナさんのおなかのまわりに魔法のバリアをはっておきました。

おや、リョウちゃんは部屋の中にある大きな箱に気が付いたようですね。

ヘレナさんがやさしくリョウちゃんに説明してくれます。

「それはね、マタニティボックスといって、赤ちゃんができたおうちに、国からプレゼントされるものよ」

さすがは福祉の国。太っ腹なことです。

中には、赤ちゃんの必需品がたくさん入っていますの。

おまけに、箱そのものが赤ちゃんのベッドにもなる、というおまけつきですわ。「見たい、見たい！」とさわぐリョウちゃんに、ヘレナさんは「どうぞ、あけてみて」とやさしく言ってくれます。

中には、赤ちゃんの服や靴下など、たくさんのものが入っています。

リョウちゃんにも似合いそうなこと（笑）。

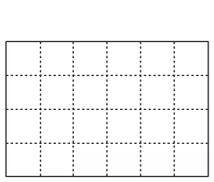
でも、手あたりしだいに中身を出してしまったせいで、リョウちゃんは箱の中にものをしまいなおすのにてこずっているようですね。

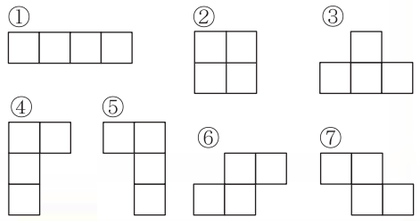
まったく、見てられません。

わたしはわたしで、「箱の中にしまう算数の問題」を作ってみることにしました。

Q おおばーばの問題

底面が40（cm）×60（cm）の長方形の箱に、図のような、10（cm）×10（cm）の正方形が4つ連なってできる厚みのない積み木①～⑦のうちの6つを、すきまができないようにしまってください（つまり、積み木は1つ余ります）。ただし、同じ積み木を使ったり、裏返して④を⑤のようにしたり、⑥を⑦のようにしたりしてはいけません。





「おなかが大きくて大変だけど、でも早く生まれてきてほしいわ。いったい、どんなすてきな子に育ってくれるのかしら、って考えるだけで幸せな気分になるのよ」ヘレナさんがやさしい目でおなかを見ながらリョウちゃんに言います。

うふふ、リョウちゃんったら、かわいいわね。

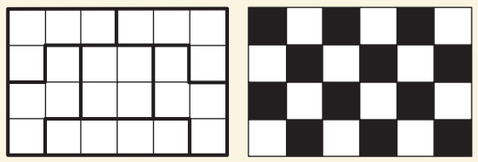
「わたしもこうやって生まれてきたんだし、だらだらするのはやめ早くまじょまじょを卒業しないと！」

ちょっぴりママのことを思い出して奮起してくれたようね。

「太陽作戦」は大成功でございます。

A 問題の解答

例えば、左の図のようにして③以外の6つをすきまなくしまうことが可能です。実は、③は絶対に使うことはできません。そのことを説明しておきましょう。右の図のように、マス目を白黒に塗り分けます。すると、③以外の積み木は、どこにおいても白マスと黒マスを2マスずつ覆うことになります。しかし、③は、どこにおいても白マス・黒マスの片方を3つ、もう片方を1つ覆ってしまいます。もともとの白マスと黒マスの個数は同じなので、白と黒の個数が違う③を使ってしきつめることはできないと分かるのです。



人物紹介

リョウちゃん

未熟な魔女「まじょまじょ」を卒業するために日々奮闘中の、どこかおっちょこちょいな魔女。目の前のものをかわいいヘビに変えるのが特技。

おおばーば（本名はセツコ）

手厳しさもあればおおらかでやさしいところもある、なぜかリョウちゃんと気の合う「偉い魔女」。保護者役も兼ねる。

「まじょまじょリョウちゃん 修行編」は、原則として毎月第1木曜日に掲載します。